

# 2021年度 OIU・OICキッズキャンパス



# 目次

1. 趣旨
2. キッズキャンパス循環メカニズム
3. コロナ禍における活動の検討・回復—Before／Withコロナ 新たな価値の創造—
4. 活動一覧
5. 活動紹介
  - (1) 栄養士コースの有志学生・教員による「夏休みお家で一緒にごはんをつくろう」
  - (2) 教育学術新聞で紹介—キッズキャンパスでのSDGsの取り組み—
  - (3) 無農薬米から広がるSDGs—OIU・OICキッズキャンパス米を地域社会へ贈呈—
  - (4) 学生SDGs企画—捨てちゃうなんて「もったいない」野菜スタンプで葉書を作ろう—
  - (5) ボランティアバンクの学生による「お家で防災体験と乾パンクッキング」
  - (6) 南山城村で無農薬コシヒカリ(キッズキャンパス米)の育成
6. 企画学生 幼児保育学科 村松美海さんからの感想
7. 守口市立よつば小学校 濱口校長先生からのコメント

## 1. 趣旨

子どもたちへの学習支援と居場所づくりを目的に2017年4月から開始しました。  
守口市立よつば小学校の3年生から6年生までの子どもたちがキャンパスに集まり、  
学生ボランティアと一緒に、毎月違った体験型の「学び・食育・遊び」を行うプログラムです。

大阪国際大学

大阪国際大学短期大学部

キッズキャンパス

守口市立  
よつば小学校

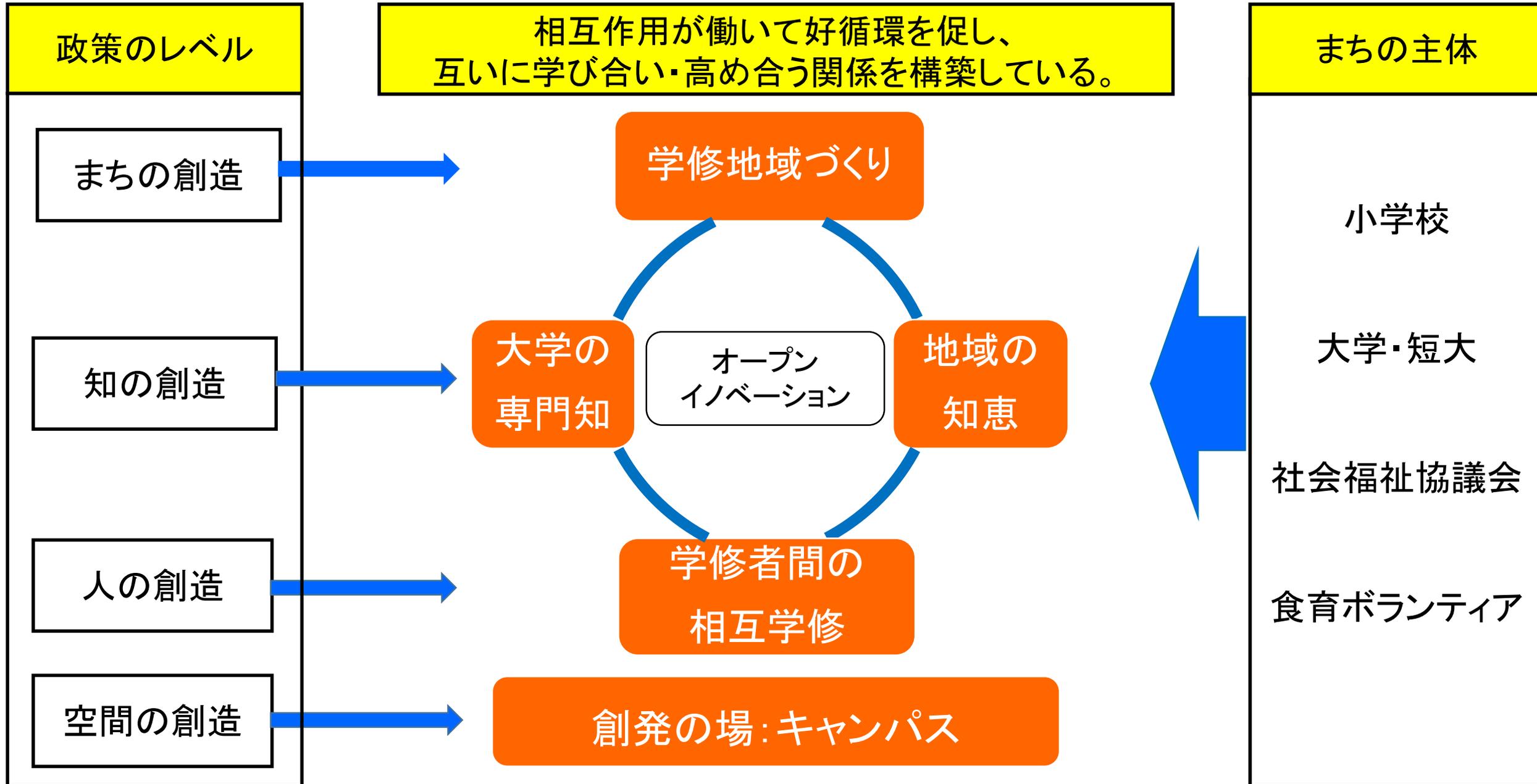
守口市

社会福祉協議会



守口市民生委員  
児童協議会

## 2. OIU・OICキッズキャンパスの循環メカニズム



### 3. コロナ禍における活動の検討・回復 —Before／Withコロナ 新たな価値の創造—

| 活動の趣旨   | Beforeコロナ   | コロナ禍での回復<br>(レジリエンス)へ向けた検討   | Withコロナ<br>「新たな価値の創造」<br>1年目  | Withコロナ<br>「新たな価値の創造」<br>2年目  |
|---|---|--|---|---|
| <p>対面式の活動<br/>(2017年度以降)<br/>子どもたちへの<br/>学習支援<br/>居場所づくり<br/>↓<br/>体験型の<br/>「学び・食育・遊び」<br/>プログラム</p> <p>※趣旨は変えずに<br/>コロナ禍でも<br/>「新たな価値の創造」をめ<br/>ざす</p> | <p>対面式の活動<br/>(2019年度)<br/>開催回数：全8回<br/>参加合計：<br/>児童195名 学生113<br/>名<br/>食育ボランティア他100<br/>名</p> <p>1. プログラム<br/>1) 学生主導型<br/>2) 学科連携型<br/>3) クラブ連携型<br/>4) 守口市社会福祉協<br/>議会<br/>主導型<br/>5) 食育ボランティア主<br/>導型<br/>6) 南山城村 自然体験<br/>型</p> | <p>活動方法の再検討<br/>(2020年度)<br/>社会的な「各距離」の拡大<br/>↓<br/>解決への価値観は<br/>子どもたちへの「共感」</p> <p>1. コロナ禍で対面活動が制限<br/>対面式の活動を自粛<br/>↓<br/>キャンパス内での開催不可</p> <p>2. 回復の方向性を検討<br/>活動趣旨を軸に<br/>柔軟性のある運営<br/>↓<br/>学内外の関係者と検討</p> | <p>回復力のある活動<br/>(2020年度)<br/>社会的な「各距離」の置き換え<br/>↓<br/>「回復軌道」へ乗せる</p> <p>1. 「空間的」距離の置換え<br/>2019年度 大学キャンパス<br/>↓<br/>2020年度 各家庭</p> <p>2. 「時間的・心理的」距離の置換え<br/>2019年度 対面・ふれあい<br/>↓<br/>2020年度 動画配信(1本)<br/>レシピ冊子提供</p> | <p>回復力のある活動<br/>(2021年度)<br/>社会的な「各距離」の置き換え<br/>↓<br/>「回復軌道」へ乗せる</p> <p>1. 「空間的」距離の置換え<br/>継続：2021年度 各家庭<br/>追加：よつば小学校に加え<br/>藤田小学校の家庭にも展開</p> <p>2. 「時間的・心理的」距離の置換え<br/>継続：2021年度 動画配信(2本)<br/>レシピ冊子提供</p> |

| 4. 実施月 | タイトル   |
|--------|--|
| 8月     | 「OIU・OICキッズキャンパス」を開催<br>—夏休み おうちで一緒にご飯を作ろう(非対面交流)—<br>協力: 栄養士コースの有志の学生           |
| 9月     | 教育学術新聞で紹介～キッズキャンパスでのSDGsの取り組み～   |
| 10月    | 無農薬米から広がるSDGs<br>—OIU・OICキッズキャンパス米を地域社会へ贈呈—                                      |
| 11月    | OIU・OICキッズキャンパス<br>—食べてみよう非常食 おうちで防災体験と乾パンクッキング—<br>協力: ボランティアバンクの学生             |
| 12月    | 「OIU・OICキッズキャンパス」学生SDGs企画<br>—捨てちゃうなんて「もったいない」野菜スタンプで葉書を作ろう—<br>協力: 幼児保育学科の有志の学生 |
| 2月     | 児童が野菜スタンプで作成した葉書を冊子にして<br>学生がよつば小学校・藤田小学校へ寄贈                                     |

## 5. 活動紹介

### (1) 栄養士コースの有志学生・教員による「夏休みお家で一緒にご飯をつくろう」

栄養士コースの木下佳代子講師とセミナー学生(2年次)の全面的な協力のもと、南山城村 無農薬米コシヒカリを使った「8種類のレシピを開発」して、児童に南山城村産無農薬米コシヒカリとレシピを提供しました。児童がレシピを元に作成した料理の写真と感想を提供してもらい、またインスタで公開することで、「双方向の関係」を維持し、絆を深めることができました。

協力先: よつば小学校、藤田小学校



## 5. 活動紹介

### (2) 教育学術新聞で紹介ーキッズキャンパスでのSDGsの取り組みー

キッズキャンパスにおけるSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みが教育学術新聞で紹介されました。「親子でごはんづくり」、「防災食(乾パン)体験」などの活動が掲載され、学生ならではのSDGsの取り組みを発信することができました

目標:教育・健康・つくる責任・つかう責任、陸の豊かさ

「親子でごはんづくり」で使用したお米:京都府南山城村で大学近隣の子どもたちと栽培した無農薬米

#### 教育学術新聞 掲載記事

コロナ禍の  
子どもたちの  
SNS交流

大阪国際大学



大阪国際大学では、対面活動が制限される中、SNSを活用した「キッズキャンパス」(小学生の居場所づくり)をおこなった。「親子でごはんづくり」「防災食(乾パン)体験」をテーマに学生たちがレシピ集を作成し、「子どもたちと栽培した無農薬米」や「備蓄品の乾パン」と共に小学校を通じて配布した。コロナ禍の中、家庭に視点をあて、子どもたちが作った料理やお菓子を大学インスタグラムで公開して地域との繋がりを継続している。

#### 本学HP 掲載



#地域交流  
#乾パン



#乾パンクッキング  
#乾パンアイス



#おうちごはん  
#キッズキャンパス



#学生作成レシピ  
#小学生に配布

## 5. 活動紹介

### (3) 無農薬米から広がるSDGs—OIU・OICキッズキャンパス米を地域社会へ贈呈—

守口市社会福祉協議会等を通じて地域福祉に役立ててもらうために無農薬米の贈呈式を執り行いました。贈呈後は同協議会等から地域の福祉活動に関するお話を伺うなど、実りある意見交換を行いました。当日は無農薬米栽培のご支援を頂いた環境総合管理機の西村様にもご出席頂きました。

主 催：地域協働センター

贈呈先：守口市社会福祉協議会（当日出席：事務局長 鳥野様、山内様）

守口市東地区民生児童委員協議会（当日出席：大井様、清水様）

贈呈日：2021年10月11日（月）



## 5. 活動紹介

### (4) 学生SDGs企画—捨てちゃうなんて「もったいない」野菜スタンプで葉書を作ろう—

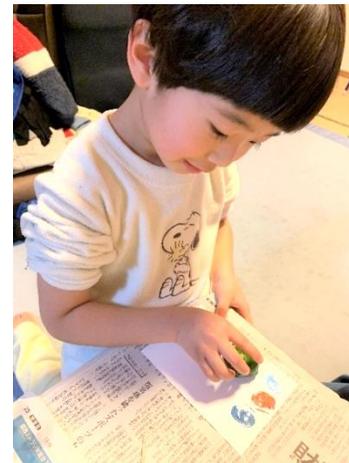
幼児保育学科の学生が野菜の切れ端で葉書をデザインする方法の動画を守口市立よつば小学校と藤田小学校の児童へ地域協働センターのYouTubeで配信しました。そして、児童が作った絵葉書を冊子にデザインして小学校へ寄贈しました。

企画学生: 幼児保育学科 村松美海さん(2022年卒業)



よつば小学校校長 濱口様

藤田小学校校長 佐藤様



## 5. 活動紹介

### (5) ボランティアバンクの学生による「お家で防災体験と乾パンクッキング」

対象: よつば小学校、藤田小学校、大阪国際大和田幼稚園

試食用の非常食と乾パンお菓子レシピを配布。レシピはボランティアバンクの学生らが作成しました。例年の防災フェスタでは自治体や消防関係者、自衛隊等と協働し多くの地域住民の方々にご参加いただいていたため、コロナ禍でも地域との繋がりを大切にするために、非常食を受け取ったご家庭より、クッキング写真と感想のご提供をいただきInstagramで公開しました。



## 5. 活動紹介

### (6) 南山城村で無農薬コシヒカリ(キッズキャンパス米)の育成

京都府南山城村の大阪国際大学耕作田にて無農薬コシヒカリ(OIU・OICキッズキャンパス米)の収穫体験を行いました。学生たちは都市・農村間の交流を通じて、異文化間・食育・環境保全・世代間が融合した「体験型の学び」を経験しました。

無農薬コシヒカリの栽培は、食の安全安心の取り組みに加え、SDGsの持続可能な目標の一つ「15.陸の豊かさを守ろう」(生物多様性を含む山地生態系の保全など)にも貢献しています。実際に田んぼからは絶滅危惧種の生物も確認されています。



## 6. 学生の感想：幼児保育学科 村松美海さん(2022年3月卒業)

SDGsを考える、そして子どもに届けるという挑戦は私にとって初めてのことでした。子どもが楽しみながらSDGsについて考えられるように『野菜スタンプ』を選び、「普段の料理では捨てられてしまう野菜の芯やへたも、楽しく遊べるのだという発見を子どもにしてもらえたら」と考えました。

キッズキャンパスは、沢山の大人の方にも子どもにも協力して頂いて最後まで形にすることができた企画でした。

関わらせていただいて本当に良かったですし、自分の発信したことがはがきとして返ってくることで、子どもに届く喜びや達成感を感じられ、私自身も成長させていただきました。

本当に参加してよかったです。ありがとうございました。

## 7. 守口市立よつば小学校 校長濱口様からのコメント

ここ2年間は、新型コロナウイルス感染予防のため、従来行われていた学生の皆さんとの直接対面での交流ができなくなり、誠に残念に思っています。

そういった中、防災意識を高めるためのカンパンを使った料理や「もったいない」をテーマにした野菜スタンプでのハガキの作成など、非対面であっても様々に工夫を凝らした企画で子どもたちを楽しませていただき、大変感謝しております。

令和4年度は、コロナ禍が収まり、今まで以上に大学・短大の学生さんとの交流が盛んになることを切に願っています。

ご参考 2019年度 (Beforeコロナ/対面活動実施) の活動①



ご参考 2019年度( Beforeコロナ/対面活動実施)の活動②

